

○令和2年度目標達成状況

資料1

No.	項目	令和元年度		令和2年度		検証と今後の対応
		目標値	実績	目標値	実績	
1	福祉コミュニティエリアにおける居住者数（累計）	500人	237人	500人	310人	<p>宅地の販売は堅調であり、約8割が売却済みとなっている。エリア内には多くの住宅が建ち並び、放課後には中央の広場や公園が子どもでにぎわうなど、活気が生まれている。</p> <p>本年3月には、函館新外環状道路の日吉インターチェンジの供用が開始されたことで、当エリアの生活利便性は高まっており、更なる居住者の増加が期待される。</p>
2	市外からの移住者数（累計）	50人	19人	50人	25人	<p>移住者は増加しており、スーパーマーケットや日吉インターチェンジも整備されたことから、移住関連のイベントへの参加機会などを捉え、エリアのPRと移住の推進に努める。</p>
3	施設運営に係る雇用人数（累計）	340人	269人	350人	290人	<p>主に特養ベルソールの職員の確保が進んだことにより、前年度実績より1割程度増加している。本年6月には多世代交流センター内に内科のクリニックが、7月には訪問マッサージを行う施術所が開設しており、雇用人数は増加傾向にある。</p>
4	生涯活躍のまち形成による経済効果	10.31億円	30.83億円	7.69億円	19.28億円	<p>令和元年度はスーパーマーケットの建設があったため、令和2年度はその反動で効果額が減少しているものの、目標値を上回る数値となっており、今後も同様の傾向が続くものと予想される。</p>
5	地域福祉の相談件数	72件	75件	72件	75件	<p>前年度相当の相談件数を維持しており、多世代交流センターの存在が定着してきているものと考えられる。高齢者を中心に、幅広い年齢層から相談を受けており、時節柄、コロナ禍に関する相談のほか、介護サービスの利用や運動・体操等の教室への参加に関する相談が多い。今後も様々な相談に対応できるよう、関係機関との連携に努める。</p>
6	ボランティア人数	200人	227人	250人	12人	<p>コロナ禍により多世代交流センターにおいて多人数が集まるイベントの実施を控えているほか、ボランティアの方々に動員をお願いしづらい状況となっているため、一時的に実績が落ち込んでいるが、今後、感染リスクの低減とともに、徐々に従来ベースに戻るものと予測される。</p> <p>なお、センターの存在が定着してきたことで、普段、センターの多目的スペースを利用している学生などが、困っている方々の手助けや言葉掛けを進んで行う光景が見られるようになっている。</p>